

港区議会議員

区民相談は  
お気軽に!

# 池田たけしNEWS

一人のために、地域のために



発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608 TEL&FAX：03-6230-9441  
発行日：2024年12月12日 URL：https://ikeda-takeshi.net



## 令和6年港区議会第3回定例会

### 代表質問

#### 高齢者支援 について

**Q** 酷暑対策で高齢者の水分補給、エアコン・扇風機の適切な使用について積極的な勧奨を行うべき

**A** 民生委員、ふれあい相談員が「熱中症予防リーフ」で啓発し、「熱中症対策アンバサダー講座」受講で向上図る

**Q** 高齢者支援課の冊子「高齢者サービス いきいき」の内容紹介、郵送申請書付チラシ配布で高齢者の安心を高めるべき

**A** 「いきいき」の認知度向上のためチラシなど効果的な周知に取り組む。

**Q** 社会福祉専門職の「生活支援コーディネーター」の今後の配置、生活支援体制づくりをこれまで以上に推進すべき。

**A** 港区社会福祉協議会と意見交換し、必要な対応を検討、これまで以上に町会・自治会などへ出向き、支援体制の構築に取り組む

#### 子ども家庭ソーシャルワーカー について

**Q** 「子ども家庭ソーシャルワーカー」の資格取得者を増やし、区全体の子どもと家庭に関する相談対応力と専門性を一層高めていくべき

**A** まず、子ども家庭支援センターや児童相談所職員が取得し、さまざまな分野においても積極的な資格取得を目指す。

#### ビジネスケアラー(働きながらの家族介護) の支援について

**Q** 多岐にわたる介護需要に対応するため、ビジネスケアラーへの支援についてはどのように対応していくのか。

**A** 介護家族の会を区内5カ所で月1回開催、仕事と介護、子育てでの離職などを避ける実効性ある取組みを検討する

#### 港区平和都市宣言 について

**Q** 制定40周年で平和を希求する不変の核心を、どのように鮮明に宣揚していくのか。

**A** 歴代区長と同じく尊重し平和を希求する思いを区民と共有して、未来に受け継いでまいります。

#### 子ども食堂 について

**Q** 心の交流について区はどのように現場に関わるのか。

**A** 運営団体同士の情報交換、ヤングケアラー支援など運営団体を通じた支援に取り組む。

**Q** 学習支援、学用品寄付などの子ども達を支える活動を

**A** 物品寄付希望の企業とネットワークを結びつけ、学習支援も検討する。

#### その他

- ・「入札について」の質問を行いました。
- ・令和5年度決算特別委員会において委員長を務めました。



## 男性へのHPVワクチン任意予防接種費用の助成が実施されます！

子宮頸がんワクチンとして知られるHPVワクチンは、男性の肛門がんや尖圭コンジローマの発症予防や、性交渉によるパートナーへの感染抑制効果が期待できます。

港区では任意接種を希望する男性対象者への接種費用全額の助成を12月1日より開始します。

区議会公明では男性への接種勧奨と費用の助成を令和4年第3回定例会から求めてまいりました。

### ・実施概要

助成額：接種費用の全額（接種回数は期間を開け3回）

対象者：小学校6年生から高校1年生相当の男性区民

※男性は任意接種のため希望者は区に申請後、予診票を区内指定医療機関に持参しての接種。



## 総合防災訓練でVR・AR技術の活用や水害対策の展示が実現！

港区の総合防災訓練にて、港区議会公明党が本年3月の予算委員会で提案した、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）の新技术を活用した訓練コーナーが設置されました。

例えば、AR浸水訓練では、ゴーグルをかけると会場にいながら、あたかも腰まで水に浸かっているような体験ができ、足元が見えないため傘で障害物を手探りしながら避難する体験ができます。

また、本年8月21日の区内の記録的短時間大雨により、止水板など浸水対策の問い合わせが、区民の方から多数寄せられました。

そこで本年9月の港区議会定例会の公明党代表質問で、総合防災訓練での水害対策に関する情報提供を要望。

その結果、新たに止水板の実物展示などが実現し、区の高層住宅向け防災資器材費用助成が止水板の購入でも受けられることなど周知啓発されました。



## 区立幼稚園全園へネイティブティーチャー派遣！

今年度から区立幼稚園全園へ、英語のNT(ネイティブティーチャー)派遣が開始に。

ここ数年、全国的に公立幼稚園の園児減少に歯止めがかからず、閉園に追い込まれる自治体もあります。

港区も同様の傾向にあることから、令和5年11月港区議会定例会の一般質問にて、区立小学校のNTを、区立幼稚園でもシェアすること

などによって、特徴ある国際英語教育を打ち出す必要性を訴え、実現！

幼・小中学校の区立一貫教育における、国際理解教育の拡充に、取り組んで参ります。



## フィルムコミッションによるロケ地誘致で、区内観光促進！

港区は、本年9月映像制作者からロケの相談や当日の立ち会いを行う、フィルムコミッション事業のワンストップ相談窓口「みなとロケサポ」を開設。

映画・ドラマなどのロケ地を誘致することにより、区内観光促進し、地元の活性化につなげます。

港区議会公明党は、令和4年9月の定例会で、区内に撮影現場が多数存在することから、ロケ地を活用した魅力発信や観光振興を訴え実現！



## 学校校庭開放に夜間照明設置が拡充！

区立小中学校の校庭開放における夜間利用の需要が高まる中、夜間に校庭で活動するには照明設備の設置が必要ですが、照明の光漏れが近隣からの苦情につながるケースが多く、照明設備の設置が進まないといった課題がありました。

そこで区議会公明党は令和5年第1回定例会において、周辺への光漏れが低減された照明器具が製品化され、都内に実際に導入しているグラウンドがあることを紹介。

こうした事例を踏まえ、夜間の運動環境の整備促進を要望した結果、本年9月から5つの区立小中学校で光漏れの抑制された照明器具が更新又は新設されることになりました。

これからも地域スポーツ振興推進のため環境整備に努めてまいります。



## 児童発達支援センターに紙おむつのサブスクリプション導入！

区では、令和5年6月から区立認可保育園等で保護者と保育園の業務負担軽減を目的とした紙おむつとおしりふきのサブスクリプション＝サブスク（定額購入サービス）事業が実施されましたが、知的障がいや発達障がいの子どもたちが通う児童発達支援センターは対象とされていませんでした。

令和4年度決算特別委員会において区議会公明党は、区立保育園等に通う児童と同じ年代の児童が通う子どもたちにも同等のサービスを提供すべきと要望しました。その結果、本年8月から児童発達支援センターでもオムツとおしりふきのサブスク事業が実施されることになりました。



## 女性へのAED使用に関する周知・啓発を強化！

公明党港区議団は、令和6年度予算特別委員会において「女性に配慮したAED使用方法の周知・啓発」について提案してきました。

その結果、港区のホームページ等に周知・啓発リーフレットが掲載されることとなりました。

この取り組みは、公明党が各地で推進してきた提案が実を結んだものであり、AEDの迅速な使用をためらうことなく行える環境整備に貢献しています。

これからも命を守る取り組みを推進してまいります。

